

JCOMM緊急会議 交通崩壊を防げ！

企 画 趣 旨

一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

藤井 聡

企画主旨

コロナ禍で今、まさに**交通崩壊**の危機。

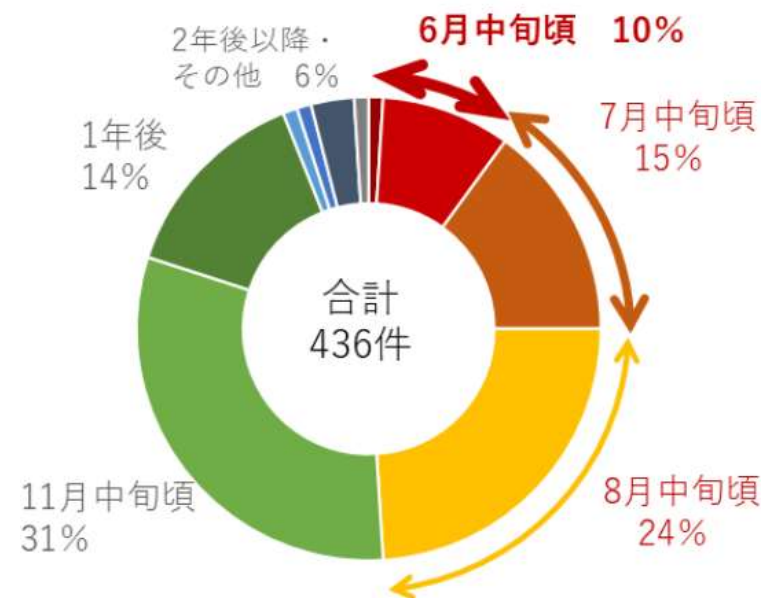
このままでは、何十年もかけて作り上げてきた「**地域の足**」が（大津波で流されるように）**失われ、二度と復活しなくなり得る。**

- 1) 今、どれほど「危機的」なのか？
- 2) それを防ぐ為には何が必要なのか？ を考える

1) どれほど危機的なのか？

- 4月時点で、**6～9割の利用者減**
(全国で最低でも年間**3.5兆円**、中小事業者で年間**1兆円**の減収)

- この状況が**7月中旬**まで続けば、
四分の一が倒産
8月中旬まで続けば
半数が倒産



今、私達がなすべきこと・・・

1. 政府（中央&地方）による**3.5兆円規模の迅速支援**により 交通崩壊はストップできます

- 新型コロナの影響による交通事業者減収額は少なくとも3.5兆円
- 8月中旬までに約半数の事業者が倒産の危機
- 地方創生臨時交付金（3兆円）の活用がポイント**：観光・飲食+移動をセット

2. 人々の「**公共交通に対するリスク認識**」の適正化で 交通崩壊をストップできます

- 「目口鼻」は何が何でも触らない！お静かに..話すなら「マスク」！常にしっかり換気！

3. 公共交通の復活は「**社会・経済の復活**」のシンボルです。

- 「公共性」の復活には、公共交通(Public Transport)利用の回復が重要
- 社会資本政策の中で、わが国で多くの蓄積があるモビリティマネジメントの活用を図るべき
- Beyondコロナの交通サービスヘシフト（バスとタクシーの一体運行、月6000円の負担で公共交通は救われる、他）

人々の「公共交通に対するリスク認識」の適正化

「公共交通に一回乗った時に、感染する確率」

アンケート調査(全国の千人)の
回答平均値

30.1%

(約3.3回に一回)

3100倍

客観データに基づく、
推計客観値

0.0097%

(約1万回に一回)

人々の「公共交通に対するリスク認識」の適正化

新型コロナにうつらない、
うつさないために、今、できること。

バス・電車・
タクシーは、

この **3** つ

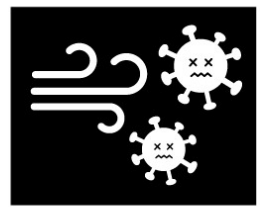
を **みんな** で **守れば**
感染リスク は
ほとんどありません!

監修: 宮沢 孝幸 准教授
京都大学ウイルス・再生医科学研究所



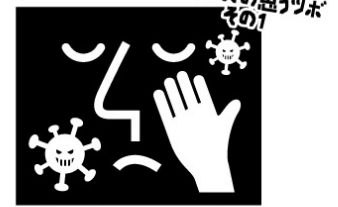
1 常に
しっかり
換気!

エアロゾル
これで(広義の)「空気感染」
リスクはほぼゼロ!



2 「目・鼻・口」は
何が何でも
触らない!

これで「接触感染」リスクは
ほぼゼロ!



3 お静かに…。
話すなら
小聲で「マスク」!

これで「飛沫感染」させる
リスクはほぼゼロ!



※身体が密着する程の「満員車両」は「換気・咳エチケット」の徹底が困難となり得ますのでお避け下さい。

もちろん、「咳エチケット」も大切です。★咳やくしゃみは手でおさえず、上着の内側や袖(そで)で覆いましょう。



発行: 一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議 (JCOMM)

MY12

ポスターのポイント

『公共交通を利用することは怖くない』

ことを利用者に **強く印象付ける**

- 主語（発行者）が「JCOMM」**
- ウイルス学の専門家監修**
- 状況に合わせたポスター作成、対応します！**

活用事例 (バス車内)



写真提供：京成バス



写真提供：十勝バス

活用事例 (ホームページ)



緊急情報があります。
TOPページよりご確認ください。



外出が必要な方のために運行を続けています



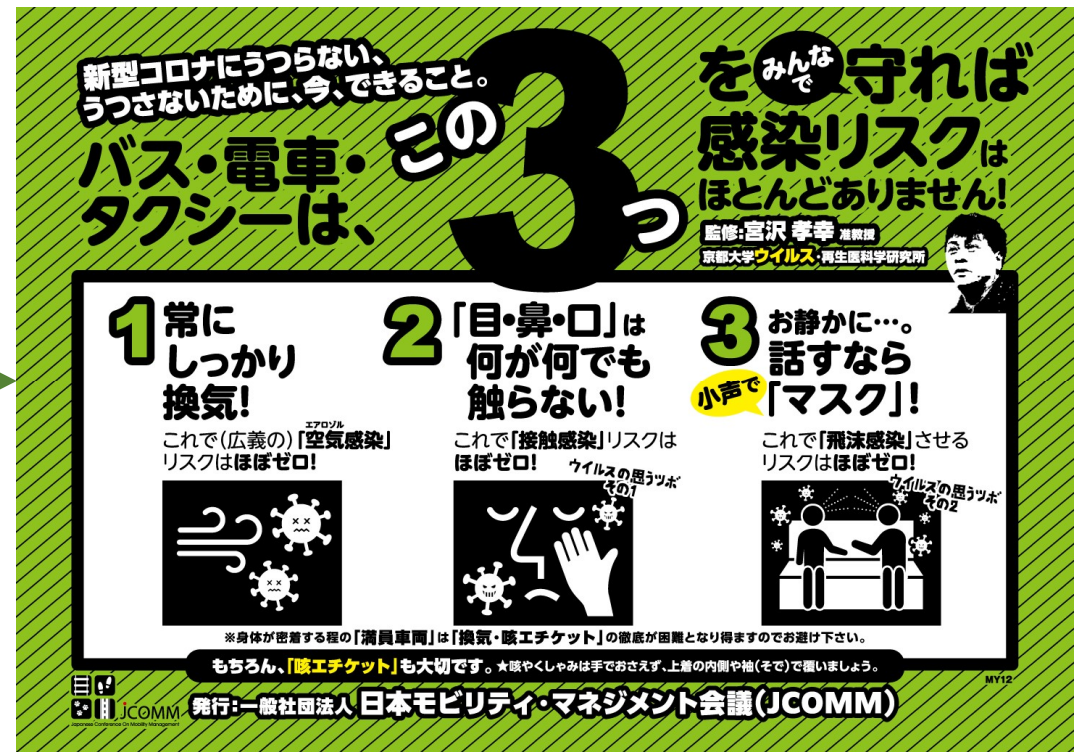
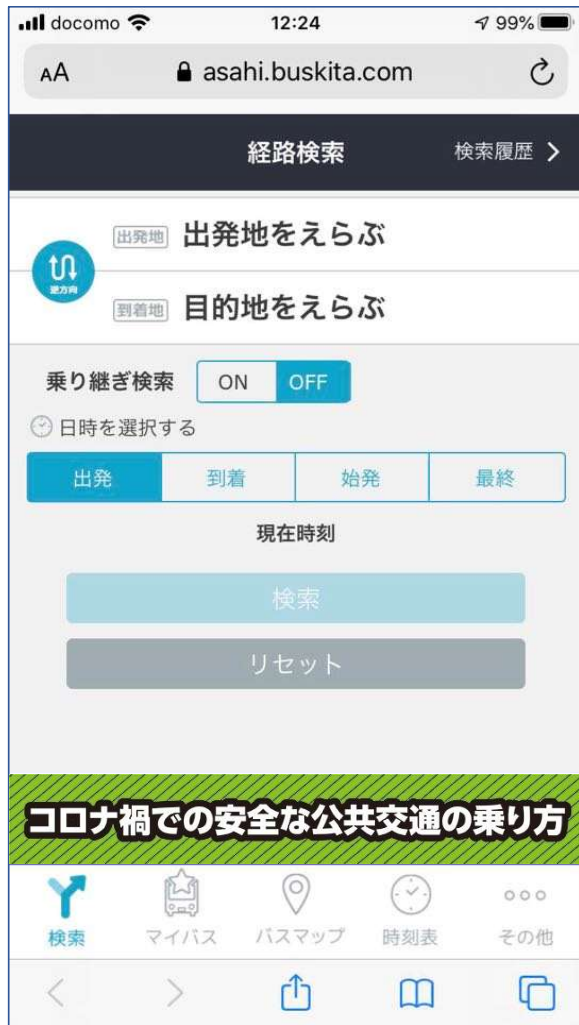
新型コロナウイルス感染防止において、お客様の安全・安心のための取り組みを行っています。

TOPICS



北海道拓殖バスHP

活用事例 (バスロケーションシステム)



バスキタ! 旭川
《メディア・マジック》
(運行事業者: 旭川電気軌道・道北バス・ふらのバス)

今、私達がなすべきこと・・・

1. 政府（中央&地方）による**3.5兆円規模の迅速支援**により 交通崩壊はストップできます

- 新型コロナの影響による交通事業者減収額は少なくとも3.5兆円
- 8月中旬までに約半数の事業者が倒産の危機
- 地方創生臨時交付金（3兆円）の活用がポイント**：観光・飲食+移動をセット

2. 人々の「**公共交通に対するリスク認識**」の適正化で 交通崩壊をストップできます

- 「目口鼻」は何が何でも触らない！お静かに..話すなら「マスク」！常にしっかり換気！

3. 公共交通の復活は「**社会・経済の復活**」のシンボルです。

- 「公共性」の復活には、公共交通(Public Transport)利用の回復が重要
- 社会資本政策の中で、わが国で多くの蓄積があるモビリティマネジメントの活用を図るべき
- Beyondコロナの交通サービスヘシフト（バスとタクシーの一体運行、月6000円の負担で公共交通は救われる、他）

【緊急発行】安全な公共交通の乗り方 掲示用ポスター（6/2 11:30更新）

※1 監修：宮沢孝幸准教授(京都大学ウイルス・再生医科学研究所)

※2 ご自由にご活用ください（ご活用の際、JCOMMへの連絡・承諾は必須ではございません）。



※クリックして拡大（黄×船ありVer.）



※縦×黄Ver.



※緑×小学生向けVer.

様々なバージョンのダウンロード

	緑色Green	黄色Yellow
通常Ver. →	PNG PDF	PNG PDF
「船」の記載ありVer. →	PDF	PDF
事業所名記入欄ありVer. →	MS/Pワポ	MS/Pワポ
縦向きVer. →	PDF	
フェリー専用Ver. →	PDF	
NEW! タクシー専用Ver. →	PDF	
学生向けVer. →	PDF	
NEW! 小学生(ルビ&簡易表現)Ver. →	PDF	
NEW! 半透明Ver. → ※企業のイメージカラー等に 重ねてご利用ください	PNG	

使い方

- ・ご希望のバージョンをダウンロードして印刷の上、掲示用等としてご活用ください
- ・よろしければ、活用した際に事務局までメールでご一報いただけますと幸いです
- ・内容のリクエスト（例：自社の名前も入れて欲しい、若干表現を変えたい）があれば、JCOMM事務局までお気軽にメールでご連絡ください。
- ・e-mail: info@jcomm.or.jp（メール送信の際は#を@に変更して下さい）

参考動画

- ・【宮沢孝幸×藤井聡】新型コロナ、電車やバス、タクシーは大丈夫なのか？ [YouTube](#)
- ・WHO Kobe Centre：「コロナウイルスの拡散を防ぐ7つのポイント」 [YouTube](#)

活用事例



※京成バス(株)提供



※十勝バス(株)提供

今、私達がなすべきこと・・・

1. 政府（中央&地方）による**3.5兆円規模の迅速支援**により 交通崩壊はストップできます

- 新型コロナの影響による交通事業者減収額は少なくとも3.5兆円
- 8月中旬までに約半数の事業者が倒産の危機
- 地方創生臨時交付金（3兆円）の活用がポイント**：観光・飲食+移動をセット

2. 人々の「公共交通に対する**リスク認識**」の適正化で 交通崩壊をストップできます

- 「目口鼻」は何が何でも触らない！お静かに..話すなら「マスク」！常にしっかり換気！

3. 公共交通の復活は「**社会・経済の復活**」のシンボルです

「交通を救う」ことこそが、「**コロナからの社会・経済の復活**」を導きます！